

感動！！の体育発表会でした。

5/18(土)快晴の元、予定通り体育発表会が行われました。コロナ禍以来本校の「体育大会」は「体育発表会」と名前を変え、種目を厳選し約半日で行うようにしています。以前の「体育大会」に戻していいのではないかという意見も一部ありますが、生徒・職員・保護者の負担を総合的に考えてこのような形態で行っています。

今年の「体育発表会」もここ数年の流れ通り勝山中らしい「きび

きびとした」「活気のある」

ものだったと思います。生徒の皆さんの姿はとても新鮮に映りました。2・3年生は、先輩らしくダンスや集団行動の練習中に後輩をリードしてくれているのがとてもよく分かりました。また、小学校とは違って、短期集中型で行う中学校の「体育発表会」に1年生は付いてくるのだけでも必死であったことでしょう。

生徒たちが一生懸命に頑張る姿からは、本当にたくさんの感動を覚えました。中でも、女子の「ダンス」と男子の「集団演技」は、今年もとても新鮮な種目として目に映り、ともに圧倒される演技でした。

まず、女子の「ダンス」はダンスリーダーの人たちを中心に創られていったものですが、例年に負けないレベルの高いダンスでした。身体をフルに使う演技で、1年生にとってはとてもハードな演技だったかもしれません。フロントゾーンで踊っている3年生たちも生き生きとしたダンスを笑顔と共に見せてくれました。ここ数年の流れ通りに3年生の親御さんには、あえて本部テント前からビデオ・カメラ撮影をしていた



できました。

続いて、男子の「集団演技」では、きびきびとした男子生徒たちの動きがとても心地よく感じました。そして、何と言っても見せ場の「交差」は見事なできでした。また、団の指揮をして、大声を張り上げて陣形の指示してくれた中村ちゃんと倉成くん、とても格好良かったですね。誰でもできるという役割ではない気がしました。素晴らしかった。去年の先輩たちにひけをとりませんでした。

それから「学級対抗大縄跳び」は、本校の伝統種目となっていますが、今年は、3年2組が合計81回

を跳び見事優勝。昨年の先輩の記録を上回りました。2年1組が合計59回で準優勝という結果でしたが、この本番にたどり着くまでの各クラスでの練習や支え合いにその大きな意義を感じています。

体育発表会は、ほぼ競争種目であり、当然勝ち負けがついてしまいましたが、その勝ち負けを超えた「充実感」を感じることができた体育発表会であったと感じました。生徒のみなさん、本当によく頑張りました！この成功体験をこれからの学校生活の自信にしてください。

再来週には1年生「ふれあい宿泊体験」です。

体育発表会が終わったと思ったら、もう2週間後の6/4(火)5(水)には、「ふれあい宿泊体験」が国立夜須高原少年自然の家であります。1年生は

息をつく暇もないハードな日々です。さて、昨年3年ぶりに復活した「ふれあい宿泊体験」です。非日常体験を通して、ここでもしっかりと学年の団結力を高めて来てもらいたいと願っています。1年生頑張れ！

